

◆2025年度 避難所開設訓練レポート

■避難所開設訓練とは

2025年11月8日(土曜日)に土気南中学校で開催された避難所開設訓練に「避難者」として参加しました。

「避難訓練」は学校、職場等も含めて経験された方も多いかと思いますが、「避難所開設訓練」というのは初めて聞かれる方もいらっしゃるかもしれません。地震、台風等の災害が起きると指定の場所に避難所が開設されるのですが、避難所は行政(千葉県、千葉市や緑区)が立ち上げてくれるのではなく、「避難所運営委員」により開設されます。土気南中学校に開設される避難所の「避難所運営委員」は当自治会とガーデンコート自治会の会員の皆さんを中心に中学校職員、中学校PTA、育成委員、民生委員、緑区の職員の方々と構成されています。この避難所運営委員の方々が災害発生の際にスムーズに避難所を開設できるように今回の様な訓練が定期的に行われています。

■避難者の受付

さて、当日の午前9時、中学校に避難するとすでに木工室入口前に受付ができていました。待機していた避難所運営委員の方に検温を求められた後、健康状態の確認を受け、避難者カードが渡され、カードに必要事項を記載します。検温と自己申告の内容に基づいて健康な人と健康状態の観察が必要な人に分けられ、2次受付に回りました。2次受付では避難者カードの一部から吊り下げ名札を作ってもらい、それを首からぶら下げます。住所を確認され、住所により分けられた避難室に案内してもらいました。

今回、案内されたのは体育館で、靴を脱いで体育館に入りました。実際の避難の際にはこの体育館がしばらくの生活の場となります。避難室は体育館の他、剣道場、柔道場、木工室、金工室が健康か否か、住所がどこかによって区分され、準備されていました。

ちなみに健康状態の観察が必要だった場合は2次受付には回らず、救護班の方が要観察者用の部屋に連れて行ってくれる段取りになっていました。

■トイレ問題への対応

避難室への避難完了後は災害時のトイレと避難室の設備の説明を受けました。

まず、実際に災害が発生した場合にはこのトイレが大きな問題になるということでトイレが通常通り使えない場合の対応について詳しい説明がありました。

1つめは自宅での携帯トイレです。用意するのは45リットルのビニール袋と凝固剤、使用済のビニール袋を入れておくための段ボール箱だけです。これで断水になっても自宅でトイレが使えるとのこと。臭いの問題への対応としてペット用の防臭ビニール袋を追加するとより安心できると思います。なお、お風呂には一般的に200リットル程度のお湯が入りますので、お湯を捨てないでと断水してもそれだけの水が使えます。

2つめは避難所に設置する携帯用トイレで今回の訓練でも設置された実物を見せていただきました。携帯トイレに座る部分が加えられたものです。

3つめが今回の訓練では話を聞いただけでしたが、中学校には体育館下の南側にマンホールトイレも準備されていました。水洗用にプールの水を使えるようになっていて、下水道管の損傷がなければ使える選択肢になります。

■用意される避難室

続いて、避難室についての説明をしていただきました。プライバシー確保のため、避難所用のテントが1張り張ってありました。1家族5人程度が入ることができる広さで一定の効果はあると思われました。ただ、床の厚さは5mm程度とのことで、災害時の報道で見ることがある段ボールベッドはありません(発生後に送られてくる可能性はあります)。また、自家発電設備はないので停電時は一般家庭と同様に電気は使えません。

■在宅避難が基本

この地区の避難は「在宅避難」が基本とのことです。避難所に避難するのは仕事でこの地区に来ていて帰れない方、在宅避難が困難な地域の住民の皆さんです。そう考えると避難所は実際には利用することはないと感じられる方もいらっしゃるかもしれませんが、支援物資の配付の拠点としてほとんどの住民の皆さんの命綱となるだけでなく、在宅避難ができない場合の支えともなるものです。

なお、防災に関しては以下のサイトをご参照ください。

- ・千葉市防災ポータルサイト <https://city-chiba.my.site.com/>
- ・分散避難 <https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/kikikanri/bosai/bunsanhinan.html>
(このサイト内の分散避難のパンフレットがわかりやすいです)

■最後に

避難所運営委員の方々は朝早くから「避難者」の受け入れのための設営、人員の配置を行い、万一の際にも対応可能な体制を整えていらっしゃる、とても心強いものでした。避難所運営委員の方々に改めて感謝申し上げます。

在宅避難のために家庭でしっかりとした準備をすることの必要性を改めて感じた1日でした。



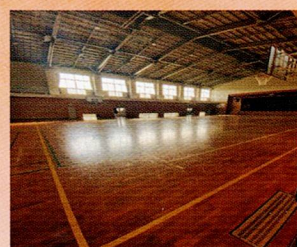
一次受付



二次受付



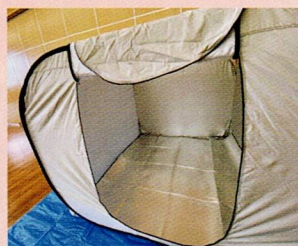
感染症予防にも配慮



体育館は来年度、冷暖房設置



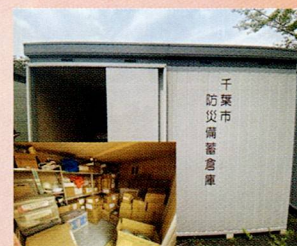
避難用テント



視線を遮ることが可能



西井委員長から説明を受ける



防災備蓄倉庫



自宅トイレでの使用例

◆避難所用携帯トイレの実践方法◆



① ビニールと凝固剤の設置

② 用を足す

③ 汚物はゼリー状に固まる

④ 段ボールに入れる



マンホールトイレもあり